



山形大学校友会
Yamagata University Alumni Association

校友会会報

25
MARCH 2025



令和6年度校友会学生幹事企画 「異文化交流ふえすた」を開催しました

Contents

校友会 NEWS 2

- ・第58回山形大学八峰祭で学生幹事の出店が大盛況!
- ・2024年度(春学期)山形大学短期派遣留学生校友会支援金贈呈式に出席しました
- ・「異文化交流ふえすた」を開催しました
- ・「山大生の活動支援プロジェクト(VIII)」成果発表会を開催しました
- ・令和6年度山形大学校友会大学院学生表彰式を開催しました
- ・令和6年度山形大学卒業生等首都圏ネットワーク総会・同窓生セミナー等を開催

校友会学生幹事コーナー 4

TOPICS 6

INFORMATION 8

「交流プラットフォーム」の
サイトはこちらから
ご覧ください。



校友会キャラクター ぎんなちゃん
(登録商標第 6447093 号)

校友会とは…

校友会は、山形大学の発展に寄与するため、学生の学業及び課外活動等への助成並びに全学的なキャンパス間の交流活動に支援を行うとともに、会員相互の親交を図り、「山形大学コミュニティ」の醸成・強化に資することを目的としております。

| 校友会 | NEWS |

1 第58回山形大学八峰祭で 学生幹事の出店が大盛況！



出店の様子

10月26日(土)、10月27日(日)に小白川キャンパスを会場に第58回山形大学八峰祭が行われ、校友会学生幹事が出店しました。

今回出店したのは、山形名物のどんどん焼で、学生幹事の皆さんは試作を重ねて試食会も開催し「DONDON 食べられるどんどん焼！一口サイズでお買い得！」としてプレーン、チーズ、メンタイマヨ(明太子)の3つのメニューで販売いたしました。

当日は両日とも天候に恵まれたこともあり、八峰祭への来場者は2日間で約3,500人。多くの人で賑わいました。学生幹事のどんどん焼は1日当たり120本を目標に販売を開始しましたが、両日とも大盛況で、途中で材料の追加購入が必要になるなど大忙し。2日間とも完売で合計322本(1日目145本、2日目177本)を地域の方々など来場者に購入いただきました。

また、同時に開催した来場者にシールを貼ってもらって完成させる「ぎんなんちゃんモザイクアート」コーナーでは子どもたちの列ができるなどの人気で無事カラフルな「ぎんなんちゃん」が完成いたしました。

そのほか、来場者向けのアンケートとして「食堂にほしいメニュー」や「校友会にほしい事」の2つのテーマを寄書き用のパネルにして学生幹事が作成し、当日多くの方々からメッセージを頂きました。

学生幹事の皆さん、2日間お疲れさまでした。

2 2024年度(春学期)山形大学 短期派遣留学生校友会支援金 贈呈式に出席しました



記念撮影

12月25日(水)、山形大学法人本部第1会議室において、「2024年度(春学期)山形大学短期派遣留学生校友会支援金贈呈式」が行われました。

贈呈式には、対象学生3名が出席し、国際交流支援部門長の新井真人教授(理学部)が陪席いたしました。

はじめに、村山秀樹副学長(国際交流担当)から、3名の派遣留学生一人ひとりに支援金目録が贈呈されました。引き続き村山副学長から、「この短期留学については、大変良い経験。まずは自分のために体験してきてほしい。また、他の山形大学生にも良い影響が与えられるようなものになってほしい」と激励の挨拶がありました。これに対し、派遣学生の代表者が「違う国の文化や生活習慣を体験することで多様な社会に対応できるような自分の成長につなげていきたい」と挨拶を述べました。

3名の方の留学先等については次のとおりです。

- ・派遣先大学：台湾師範大学(台湾) 派遣期間：半年間
- ・派遣先大学：中山大学(台湾) 派遣期間：半年間
- ・派遣先大学：ハワイ大学カピオラニコミュニティカレッジ(アメリカ) 派遣期間：半年間

この短期留学支援については、校友会事業として採択されたもので、本学と大学間交流協定を締結している海外の大学に1年以内の短期留学を行う学生に、留学に必要な経費の一部を留学支援金としてお渡しするものです。

派遣留学生の皆さま、健康に留意され、それぞれの派遣大学で楽しんでください。

3 「異文化交流ふえすた」を 開催しました



いるはかるたで盛り上がる参加者

1月24日(金)、校友会学生幹事企画として「異文化交流ふえすた」が基盤教育3号館312教室を会場に開催されました。この企画は、山形大学の日本人学生と外国人留学生たちが交流できるような取り組みを行いたいと学生幹事が考えたもので、当日は外国人留学生9名と日本人学生ら21名の合計30名が参加しました。

当日は、4グループに分かれ、はじめに、アイスブレイクとして校友会公認マスコットのぎんなんちゃんの福笑いでお互いの緊張をほぐした後、スノードーム作りが行われました。スノードーム作りでは事前に準備したいろいろな種類のマスコットをそれぞれの個性を生かして飾り付けて作成していき、学生幹事たちがあらかじめ試作してみて作成手順などを確認し、それぞれのグループで指導しながら行われました。仕上げの接着剤が乾くまでの間は、いるはかるたで盛り上がりました。

スノードームが完成すると、早速逆さまにしてキラキラしたラメがゆっくり落ちてくるのを見て感激していました。それぞれの作品を見せ合い最後には作品を手に記念撮影。想像以上に盛り上がった企画となりました。

今回の企画は、外国人留学生には日本の昔からの遊びにも触れてもらうことができ、これからの山形大学での学生生活においても繋がるような異文化交流となりました。

4 「山大生の活動支援プロジェクト(VIII)」 成果発表会を開催しました



成果発表会の様子

2月18日(火)、法人本部第一会議室において「山大生の活動支援プロジェクト(VIII)」成果発表会が、開催されました。今年度は「山大学生活動支援プロジェクト」と「山形大学と交流する会プロジェクト」から採択された計8団体が参加し、プレゼン発表と活発な質疑応答が行われました。発表団体は次のとおりです。

- (1) 山形大学体育会サッカー部
- (2) 山形大学吹奏楽団
- (3) 山形大学医学部室内合奏団
- (4) 山形大学アカベラサークル Smile ☆
- (5) 学び場プラス
- (6) 山形大学模擬裁判実行委員会
- (7) 山形大学花笠サークル四面楚歌
- (8) 山形大学「まちの記憶を残し隊」

最後に「山大学生の活動支援プロジェクト」代表者の村山秀樹副学長、「山形大学と交流する会プロジェクト」代表者の飯塚博理事からそれぞれ講話をいただき、活動支援プロジェクト(VIII)成果発表会は終了いたしました。

山形大学校友会はこれからも山大学生の幅広い活動を支援していきます。来年度も多くの皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

各発表の内容につきましては下記 URL からご覧ください。

<https://www.yamagata-u.ac.jp/ykouyu/nosirase/2025/20250218.html>

令和6年度に実施した事業や、校友会の活動等を紹介します。

5 令和6年度山形大学 校友会大学院学生表彰式を 開催しました



記念撮影

2月19日(水)、令和6年度山形大学校友会大学院学生表彰(校友会会長賞)表彰式を法人本部第一会議室で開催しました。

この賞は、山形大学大学院の各研究科に在籍する大学院学生のうち顕著な学術研究活動を行った者に対し、山形大学校友会の事業として表彰し、大学院学生の研究意欲の向上と学術研究活動のさらなる活性化を図ることを目的としています。

今年度は、各研究科長から推薦された大学院学生の中から、理事会の議を経て13名の学生が選出され、表彰式には13名中11名が参加し(うち8名はオンライン参加)、玉手英利会長(学長)から一人ひとりに表彰状が授与されました。

表彰式は、各同窓会長らも陪席された中で行われ、表彰状授与後に、玉手会長から、「皆さんの研究が国際的に、または地域社会から高く評価された意義は大変高いことです。支援いただいた「山形大学コミュニティ」に感謝の想いを馳せながら、後輩学生の研究もぜひ支援してほしい」と激励のあいさつが述べられました。引き続き、受賞者を代表して菊地真魚さん(理工学研究科博士後期課程地球共生圏科学専攻1年)から「日々の研究の成果がこのような形で評価されたことを大変嬉しく思います。これまでの学びと努力を糧に、今後の研究活動や社会での活躍に向けて一層精進していきたい。」と御礼と今後の抱負が述べられました。

13名の大学院学生の皆さん、誠におめでとうございます。益々のご活躍を祈念しております。



学生代表挨拶



表彰状授与

6 令和6年度山形大学卒業生等 首都圏ネットワーク総会・ 同窓生セミナー等を開催



総会の様子

3月1日(土)、銀座・吉乃翔(東京都)において、令和6年度山形大学卒業生等首都圏ネットワーク(以下、ネットワーク)総会・山形大学同窓生セミナー・懇談会を開催しました。

このネットワークは、首都圏に居住又は勤務する山形大学の卒業・修了生及び教職員等との連携協力を図り、首都圏の山形大学卒業生等のコミュニティを醸成・強化し、山形大学の発展に貢献することを目的として平成25年に発足した。当日は60名が出席しました。

総会は、はじめに、市岡正彦会長(蔵王会関東支部長)のあいさつがあり、次いで、玉手英利学長(校友会会長)から、この首都圏において山形大学コミュニティの醸成・強化のためにご尽力いただいていることに対する謝意が述べられた後、山形大学における最近の重点的な取り組み状況などについて報告がありました。引き続き、議事が行われ、令和6年度における卒業生等首都圏ネットワークの活動について、報告・審議が行われました。各学部同窓会等からの報告では、地域教育文化学部同窓会の渋谷光夫会長(校友会副会長)から、現在検討が進められている山形大学の教育学部の再興に関して資料に基づき説明がありました。最後に、市岡会長から、今後とも首都圏における山形大学卒業生等のコミュニティを醸成・強化し、母校の発展に貢献していくこととしたい旨を述べられ総会が終了いたしました。

総会終了後には、校友会学生幹事の木立実里さん(医学部医学科1年)と猪股芽生さん(医学部看護学科1年)の司会で令和6年度山形大学同窓生セミナーが開催され、村山副学長の開会あいさつの後、医学部6期生の高橋慶一氏(グレースホームケアクリニック伊東院長)による卒業生講演「大腸がんに対する最新の治療戦略」が行われました。卒業生講演では、大腸がん分野の第一人者でもある講師の説明に参加者はメモを取るなど聴き入っていました。講演後は、校友会学生幹事の活動紹介が行われた後、三井住友信託銀行仙台支店の主席財務コンサルタントの大坂氏による「今から考える相続対策セミナー」が行われました。

同窓生セミナー終了後には懇談会が開催され、校友会副会長の渋谷光夫氏のあいさつの後、大泉征雄顧問(前ネットワーク会長)のご発声で乾杯。各同窓会の壁を越えた交流に大いに盛り上がりしました。最後は、米沢工業会東京支部の柿本将志支部長の閉会のあいさつが述べられ盛会裏にお開きとなりました。

企画説明

私たち学生幹事は、1月17日(金)に工学部がある米沢キャンパス、1月24日(金)に農学部がある鶴岡キャンパスを訪問しました。

校友会の元学生幹事の方と米沢工業会の方、農学部鶴窓会の方に取材を行いました。



～工学部生へのQ&A!!～

〈学生紹介〉

片岡小春さん (工学部高分子・有機材料工学科3年)

赤寄亮太さん (工学部化学・バイオ工学科2年)

Q. 今取り組んでいること、頑張っていることはありますか？

片岡：「勉強」と「語学」この二つの軸を大切に日々生活しています。勉強面に関しては、日々の授業を大切に、勉学に励んでいます。また語学面に関して、私は高校を卒業してからすぐは英語を話せませんでした。ですが話せるようになりたいと思い、山形大学に入学してから語学学習に力を入れ、大学1年生の時にはタイにインターンシップに行きました。現在は、「国際交流サークル」に所属し、活動をしています。

赤寄：僕は今アルバイトを3つ掛け持ちしており、とても充実した日々を送っています。

やりたいことをやろう!という気持ちがとても強いので、2年生の夏に東北地方にある数々のお祭りを一人で回りました。特に青森のねぶた祭に行った際は、現地の人とても仲良くなれて楽しめました。東北はあたたかい!

Q. 米沢市の気候について感じたことを教えてください!

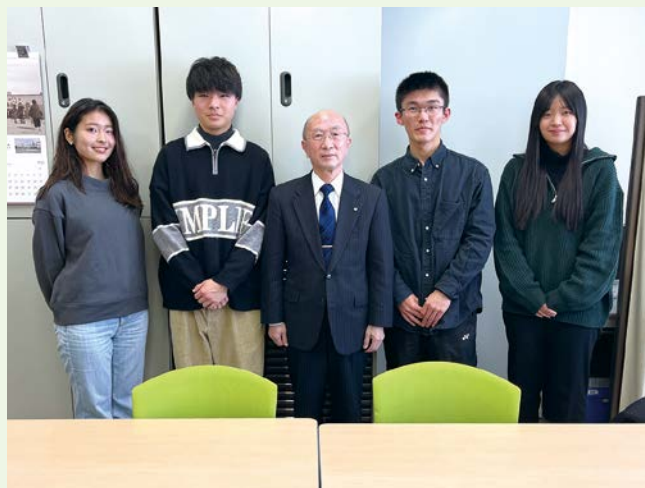
片岡：夏は蒸し暑いですが、冬はやはり雪がすごいです!私は出身が宮城県で雪が降らなかったため、米沢に来てからはまず雪の量に驚きました!また、私は徒歩で大学に通っているのですが、米沢は雪を解かす工夫として車道の中央から水が出ていて、その水が歩道まで流れてきます。そのため冬は雪も大変ですが、徒歩通学の方は靴が水浸しになるので注意してください!!

赤寄：小白川と米沢の雪の違いとして、小白川は凍りやすく、米沢はシャリシャリとした雪であるという印象があります。靴は、「長靴」もしくは「防水靴」をおすすめします!スニーカーでは厳しいです!!

Q. 今の大学生に一言お願いします!

片岡：授業はまじめに受けて、勉学に励んでください。また、研究室に配属されたら英語の論文を読む機会が増えます。そのため、工学部の方こそ英語学習に力をいれるといいと思います!

赤寄：これから一年生は特に、忙しくなるから遊んでおけ!と先輩に言われると思います。ですが、忙しいながらも遊べます!大事な何事も効率よく行うことです。うまく遊びましょう!!

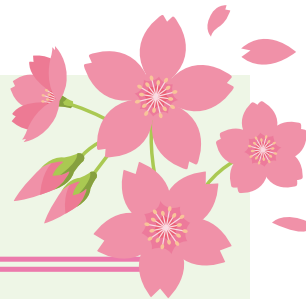


米沢工業会 大沼正国理事長へのQ & A!!

Q 山形大学の学生には、どんな学生になってほしいですか? 米沢工業会賞とは?

勉学はもちろんのこと、勉学以外の様々なことに興味や関心を持ち、挑戦して欲しいですね。そこで、工学部の同窓会である本会では工学部学生への支援として、会員からの会費を様々な支援事業に充てていますが、その中の一つ「米沢工業会賞」は、勉学だけでなく、地域・社会貢献活動や学内外行事活動においても顕著な功績があった学生(個人・団体)に授与しています。

行ってきました！



～農学部生へのQ & A!!～

〈学生紹介〉

佐藤 圭さん（農学部バイオサイエンスコース3年）

Q. 学生幹事をやっていてよかったことは何ですか？

A. 人脈が広がったことだと思います！学生幹事の仲間たちはもちろん、学生生活では出会えない同窓会の方々とお話しすることができました。同窓会の方々と交流することで、ためになるお話をたくさん聞くことができて視野が広がりました。学生幹事として活動することは自身の成長につながったと感じます。

Q. 今頑張っていることは何ですか？

A. 友人が設立した交流団体「air-field」という団体に属し、学生と企業をつなげる交流の場を作る活動をしています！ほかには、サークル活動と「若者」「農家」「地域」が一体となり作り上げる特産品の新ブランド「山美果（Sanbika）」のお手伝いをしています。（参考：<https://shop.sanbika.jp/>）

Q. 農学部で頑張ろうと考えている学生に向けてコメントをお願いします。

A. 縦にも横にも幅広く友達を作っておくことをお勧めします！生活面でのアドバイスをすると、運転ができるようになっておくことをお勧めします。特に、エコサイエンスコースに進む方は演習林に行く機会が他のコースよりも多いですよ！鶴岡キャンパスでみなさんに会えるのを楽しみにしています！



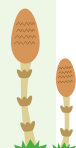
鶴窓会 菅原 幸司会長・ 渡邊 一哉事務局長のお話

菅原会長から学生に向けて

私は山形大学の学生には判断力のある人になってほしいと思います。判断力は過去の経験を振り返り失敗から学ぶことで得られる力ですので、自分の判断力を信じる能動的な人間になれるようぜひ学生時代にいろいろ試してみてください。また、学生生活で意識してほしいのが「報恩」です。報恩とは、相手への感謝の気持ちから生まれる「自分を支えてくれた人のために頑張ろう」という気持ちのことです。自分を支えてくれた人々に感謝を忘れないことが大切です。そして、学生の本分である学業を疎かにせず、自分の勉強スタイルを確立して卒業後も新しい知識を吸収し続けてください。

渡邊事務局長から学生に向けて

最近の学生に言えることは、やらない言い訳が多すぎるということです。学生時代は、本当にやりたいことは何か見極めるための時間です。時間は学生が持ちうる最大の武器ですから、負けや失敗を恐れるのではなく、今しかできないことをやって、多くの経験を積んでほしいです。



米沢工業会創設100周年記念式典が開催されました

10月12日(土)、米沢工業会創設100周年記念式典がランドホクヨウ(米沢市)において開催され、関係者ら約150名が参加。山形大学からは、来賓として玉手英利学長、飯塚博理事・副学長、黒田充紀工学部長が、校友会からは奥山利弘事務局長が出席しました。

はじめに行われた講演会では、ともに工学部を卒業された、小山清人前山形大学長が「偶然に支配された私の半生～山形大学での56年を振り返って～」と題して、TOPPANホールディングス株式会社 磨秀晴 代表取締役社長 CEOが「次の100年に向けたTOPPANグループの企業経営－変化を起こす、変化に挑む－」と題しての、講演が行われました。

講演後開催された記念式典では、大沼正国米沢工業会理事長から式辞が述べられた後、玉手英利学長、吉村美栄子山形県知事(ビデオメッセージ)、近藤洋介米沢市長の来賓祝辞が述べられました。

引き続き、記念祝賀会が開催され、鈴木憲和前衆議院議員 農林水産副大臣、舟山康江参議院議員、芳賀道也参議院議員と黒田充紀工学部長の来賓祝辞の後、飯塚博理事・副学長の発声で乾杯。米沢工業会の創設100周年を祝いました。

祝賀会では、山形大学花笠サークル四面楚歌の花笠おどりの演舞披露や、山形大学工学部、米沢女子短期大学、米沢栄養大学の3大学合同の吹奏楽団による演奏も行われ、米沢高等工業学校の校歌や白楊寮寮歌などが披露されました。参加者が近況報告や思い出話などそれぞれ懇親を深める中、盛会裏にお開きとなりました。



講演する小山清人前山形大学長

令和6年度「ふすまの集い」に出席しました

10月25日(金)、山形国際ホテルにおいて、令和6年度「ふすまの集い」が開催され、約80名が参加。校友会事務局から奥山利弘事務局長が出席しました。今回は校友会学生幹事3名を含む現役の学生会員11名も出席しました。

開会に先立ち、会場では、山形大学混声合唱団による合唱が行われ、学生歌の「みどり樹」などが披露され、混声合唱団の歌声が会場に広がりました。



挨拶する高橋節会長

はじめに、ふすま同窓会高橋節会長から挨拶があり、これまで地元山形県に在住する会員を中心に開催してきた「ふすまの日・ふすまの夕べ」について、各地・各年代の多くの会

員が参加できるよう企画に見直し、名称も「ふすまの集い」に改めたなどの説明がありました。

引き続き、森岡卓司人文社会科学部長と並河英紀理学科長から来賓祝辞が述べられ、それぞれの学部の実状や課題などの説明も含めた祝辞の後、今回一番遠くから出席された目加田英輔氏(理・第4回昭和49年卒)の発声で乾杯。懇親を深めました。

懇談会では、佐藤夏雄国立極地研究所名誉教授(理・第1回昭和46年卒)からのお祝いのメッセージやティーデマン・ふすま賞の受賞者の方々からの挨拶もあり大変盛り上がる中で楽しく懇談が行われました。

久しぶりの再会となる参加者が近況報告や思い出話などそれぞれ懇親を深める中、今回の担当幹事である高橋伸幸氏(人文・第36回平成18年卒)の一本締めで盛会裏にお開きとなりました。

地域教育文化学部同窓会母校創立146周年祝賀行事が開催されました

10月27日(日)、ホテルメトロポリタン山形において、山形大学地域教育文化学部同窓会母校創立146周年祝賀行事が開催されました。山形大学からは、来賓として玉手英利学長、出口毅理事・副学長、大森桂副学長、中西正樹地域教育文化学部長他、校友会からは奥山利弘事務局長が出席しました。

この祝賀行事は、母校卒業満50年会員、同30年会員が出席する祝賀行事で、はじめに行われた祝賀式では、渋谷光夫会長の式辞が述べられた後、玉手学長、中西地域教育文化学部長、山形県教育委員会教育長(代理：米野教育次長)からの来賓祝辞が述べられました。

来賓祝辞の後、地域教育文化学部同窓会から地域教育文化

学部に対しての研究奨励費の贈呈が行われ、渋谷同窓会長からは母校の益々の活躍を期待するメッセージが添えられました。

引き続き行われた祝宴では、50年会員の恩師である大瀧保氏の発声で乾杯。創立146周年を祝いました。

祝宴は、同級生との再会や、来賓として恩師の先生方へ出席いただいたことにより、大いに盛り上がり、最後は安藤耕己副学部長の万歳三唱で盛会裏に閉会となりました。



式辞を述べる渋谷光夫会長

各学部同窓会・後援会、校友会と山形大学との情報交換会を開催



会議の様子

10月2日(水)、法人本部第一会議室において、「各学部同窓会・後援会、校友会と山形大学との情報交換会」をオンライン併用で開催しました(出席者21名中8名がオンライン)。

この会は、各学部同窓会・後援会、校友会そして山形大学の連携を密にし、各組織における運営上の諸課題や将来像等について意見や情報を交換することによって、山形大学の発展や学生支援等の充実に寄与することを目的とするもので、今回が8回目の開催となりました。

はじめに、玉手英利学長(校友会会長)から、現在の学生たちの様子や山形大学の近況について報告がありました。引き続き、Alumnote株式会社 代表取締役 CEO 中沢冬芽氏を講師にお招きし、「大学コミュニティの活性化と Giving

Campaign について」のタイトルでご講演いただきました。講演では、日本全国の大学・大学生を応援し、教育・研究分野への支援の輪を広げるオンラインのチャリティーイベント Giving Campaign の取り組みを中心に紹介され、質疑応答では、多くの質問があり予定の時間を大幅に超えてしまうなど参加者の関心の高さがうかがえました。

引き続き行われた情報交換会では、各機関における活動状況及び運営上の課題について意見交換が行われ、各同窓会・各後援会における現状と運営上の課題等について、活発な意見交換が行われ、それぞれ共通する課題について情報を共有しました。



講演する Alumnote 株式会社 代表取締役 CEO 中沢冬芽氏

山形大学ESSサークルOB・OG会の皆さんがキャンパス見学



全天候型グラウンドを視察

11月18日(月)、山形大学ESSサークルのOB・OG会の皆さんがキャンパス見学に訪問されました。訪問されたのは昭和47年から昭和52年入学のOB・OGの皆さんで18名が訪れました。卒業以来50年ぶりの訪問となった方も多数おられました。

はじめに、卒業当時からの山形大学の動きや最近の話題など山形大学の概要について、人文社会科学部の講義室(FLL)において奥山事務局長から説明があり、その後、黄金色に色付いた銀杏並木のキャンパス内の見学が奥山事務局長の案内でスタートしました。

キャンパス見学では、新しくなった建物やグラウンドなどに驚いていましたが、無くなってしまったプールや自分たちの部室があった場所などを訪れた時には当時のことを懐かしく思い出

しているようでした。また、唯一当時の面影を残している学生ホールを訪れた時には「ここでずいぶん飲んだね。」など思い出話に一層花が咲いていました。

そのほかにも企画展を行っていた附属博物館では大喜博物館長から説明を受け真剣に聴き入っていました。

今回のキャンパス見学の参加者からは、久しぶりに訪れた母校でいい思い出作りができたなど感謝の言葉が寄せられました。

校友会事務局では、このような卒業生(同窓生)の皆さんの来訪を歓迎しております。

電話：023-628-4867(直通)

メール：yu-kouyu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



中庭の紅葉の中で記念撮影

山形大学コミュニティのイメージについて

山形大学校友会は、学生の学業・課外活動への助成と各キャンパス間の交流活動を支援し、会員相互の親交を図り「山形大学コミュニティ」の醸成・強化に資することを目的に、平成18年12月に設立されました。会長は学長で、各学部の同窓会や後援会と連携を図りながら、学生の修学・課外活動・就職活動ははじめ様々な事業を支援しています。校友会のホームページで様々な情報の発信を行っていますが、その他にもメールマガジンや会報等も利用して情報提供しております。コロナ禍で対面での交流が難しかったことを受けて「山形大学に係る全ての方が繋がる」ための「山形大学交流プラットフォーム」も開設しております。

本会の賛助会員である各学部同窓会、後援会等との関係を整理する図を作成しましたのでお知らせいたします。

山形大学校友会は、引き続き、様々なステークホルダーの皆さまとつながりながら活動してまいります。



メールマガジンへの登録及び卒業生寄稿のお願い

●校友会では、メールマガジン「みどり樹通信」を毎月配信し、山形大学や校友会に関する情報を提供しています。メールマガジンは、校友会ホームページ上から簡単に申し込みができます。

●卒業生の皆さまからの寄稿を広く募集しています。山形大学や在学生への応援メッセージ、学生時代の思い出などなんでも結構です。

※ご寄稿いただける場合は、校友会事務局までお知らせください。



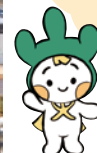
「交流プラットフォーム」への登録案内

本サイトは、小白川・飯田・米沢・鶴岡の4キャンパスのイラストマップを掲載し、公認サークル、研究室、関連施設の情報収集と、「いいね!」や投稿による交流ができるほか、四季折々の風景をドローンや360°カメラで撮影した動画・画像で楽しむことができます。利用については、通常のサイト同様に閲覧できるほか、3種類（「交流会員」、「正会員」、「卒業生会員」）の 카테고リーに登録いただくことにより、よりユーザーニーズに適った交流が可能となっています。

「山形大学将来ビジョン」の「つなぐちから。」のDXツールとして、本学学生・教職員はもとより、卒業生、保護者、地域の皆さま等、本学に関わるすべての方のご利用をお待ちしております。



「交流プラットフォーム」のサイトはこちらをご覧ください。



校友会への入会案内

校友会は、学生の修学、課外活動及び就職活動並びに全学的な交流活動の支援を行うと共に、会員相互の親交を図り「山形大学コミュニティ」の醸成や強化に資するために様々な事業を展開しています。これらの事業は、在学生、卒業生、役員、教職員及び本会趣旨賛同者の生涯会費(1万円)により行われています。

については、多くの皆さまにご加入をお願い申し上げ応援していただければと思います。会員（入学時加入会員除く）の方には、定期的に校友会会報や大学の様々な広報誌を送付しています。

入会申込手続き：払込取扱票に必要事項をご記入の上、郵便為替により生涯会費1万円をお振り込みいただくこととなりますが、払込取扱票等は校友会事務局に用意していますのでご連絡ください。ゆうちょダイレクトをご利用される場合にも校友会事務局まで申し出ください。

入 会 日：会費の納入日となります。

編集後記

今年度も皆さまと共に多数の事業や活動を実施してまいりました。各キャンパスでは穏やかな普通の日常が戻り、たくさんの友人と語り合いながら、楽しく有意義なキャンパスライフが送れることを期待します。

これからも校友会は、山形大学のコミュニティの醸成・強化に努めてまいりますので、引き続き、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。（校友会事務局）

山形大学校友会事務局

〒990-8560 山形市小白川町1丁目4-12

TEL:023 (628) 4867 FAX:023 (628) 4185

E-mail:yu-kouyu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

〈校友会ホームページ〉<https://www.yamagata-u.ac.jp/ykouyu/>



校友会HP



X



Facebook



Instagram